令和３年度
学校だより
ＮＯ．４
Ｒ３．６．２３

南小っ子

かしこく　なかよく　げんきよく

甲府市立中道南小学校
（児童数７４名）
編集 校長 小林 和仁

学校生活の中のコロナ感染症対策

６月１５日、県知事が現在の本県の感染状況について、国が示す分類における「ステージⅢ」相当と認識したことにより、県教育委員会は、本県の学校の行動基準（地域の感染レベル）を「レベル２」に引き上げ、甲府市の感染者が急増していることから市教育委員会も甲府市の地域感染レベルを「レベル２」としました。これまでの「レベル１」から「レベル２」に上がることにより、学校での教育活動に大きな影響が出てきます。各教科での学習活動では、共通での留意事項である、

①児童が向かい合い、対面形式となって行う活動は行わない、
②近距離で一斉に大きな声を出す活動は行わない、に加えて、
③家庭科での調理実習は行わない。
④体育では、なるべく屋外を使い、個人や少人数など、密集せずに距離をとって行うことができる運動をし、呼気が激しくなるような運動は避ける。サッカー、バスケットボール、ダンス等身体が接触する運動を避ける（休み時間の鬼ごっこやドッジボール等の遊びも含みます）。
⑤音楽での歌唱や口に触れる楽器（リコーダーや鍵盤ハーモニカ）の演奏はしない。
⑥理科では、近距離で活動する実験や観察をしない。

など、できなくなった学習内容やより徹底した対策をとらなければならない活動が多く出てくるので、これまでの学習活動と大きく変わることになります。

しかし、学校では、学習内容の順番を入れ替えたり、指導方法を工夫したりするなど、各担任が熟考しながら、教育課程に沿った指導ができるように日々努めています。学習が予定された通りに進められないこともあるかもしれませんが、ご理解をお願いいたします。

学校の一日が始まると、教職員は、「離れなさい」「マスクを鼻まで上げなさい」「マスクを取ったら話しません」「給食時は話しません」「大きな声を出しません」など、毎日、毎時間、子どもたちに予防対策に関わる多くの言葉がけをしています。学校は引き続き予防対策の指導をしていきますが、その中で今力を入れて指導していることは、**子ども一人一人が自発的に徹底した予防対策がとれるようになること**です。言われてする対策よりも、自分からする対策の方がより徹底できるからです。**友だちと近づいたら自分から離れる、自分から進んで手指を洗い消毒する、できない友だちに声をかけてあげるなど、子ども一人一人が、「自分を守る」ことを意識することが、「友だちや学校をコロナから守ること」につながる**ということです。子どもたちの様子を見ていると、すでにできている子どもが大勢いますが、休み時間の過ごし方や放課後の遊び、お迎えを待つ間の時間などは、追いかけっこをしたり、大声を出したりと、声かけが必要な子どももいます。学年差による指導の仕方や理解度も違いますが、**南小の児童全員が、自分から進んで予防できるようになる**ことを願っています。ご家庭でも、お子さんやご家族の予防対策を振り返り、話題として出していただき、徹底した感染予防対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

ご家族で一緒に考えてみてください
◆お子さんは、一日を通して自分から進んで予防対策ができていると思いますか。
（予防対策の基本：密集密接回避、正しいマスクの着用、手洗いと消毒）
①教室にいる間だけでなく、休み時間や放課後（校庭での遊び・放課後児童クラブ・お迎えを待つ間）の様子は知っていますか。
②帰宅してからのお子さんやご家族の予防対策の様子はどうですか。

なお、学校行事や地域の皆様に関わる行事等については、その時の状況を見極めながら実施の可否や方法を判断させていただきます。

水泳授業が始まっています

６月１０日、５・６年生を代表として、プール開きを行いました。昨年度のプールは中止でしたので、２年ぶりの授業となります。今年度は、各学年ごとに５週間で１０時間、担任以外に１名の教職員をつけています。プール内外では２ｍの間隔をとり、マスクの脱着のタイミング、プールサイドは一方通行、教師は水泳用のマスクをつけるなど、感染予防対策としての制限が多い中でのスタートです。時間数が少なく、本来あるべき入水時の歓声もありませんが、そんな中でも子どもたちは、一生懸命に、笑顔も見せながら水泳授業を楽しんでいます。

今回は、感染症対策について、学校での学習面や生活面の具体的な対策や制限等を詳しくお伝えする機会として編集しました。ご家族みんなでもう一度考えていただくきっかけになってくれたらと思っています。